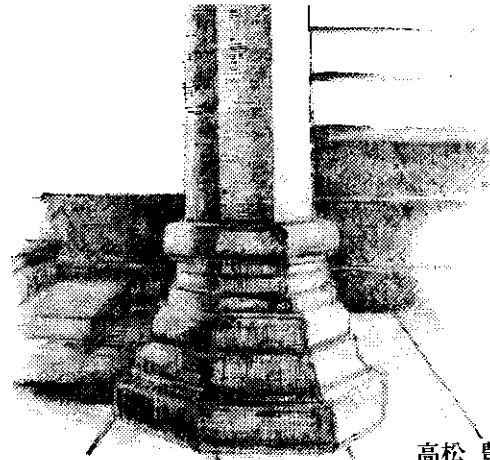


■安積中学校■安積高等学校在京同窓生

東京桑野会会報

●1989年4月1日発行●発行・編集人 澤田 悌●発行所 東京桑野会事務局 〒101 東京都千代田区神田錦町 2-5 KSビル 3F



11



高松 豊 画



ご挨拶

東京桑野会会長 澤田 悌

- ①桑野の母校に学んだという共通の経験に結ばれた同窓の親睦の会であること
- ②会員はみんな仲良く相親しみ楽しい会であること
- ③何んらかの意味で会員の頼りになるような面もある会であること

昭和が終り、平成元年を迎え、色々な意味で誠に感慨深いものがあります。

東京桑野会の会報も回を重ね、ここに第11号を皆様にお届けすることになりました。第1号発行以来着実に軌道に乗り、又内容も次第に充実してまいりましたことは心強い限りであります。仲々面倒な編集に取り組まれる広報部の方々や、広告によってご協力なさっている皆様に、心から感謝申し上げます次第です。

さて毎年恒例の会員総会を、別項記載の通り来る4月14日目白の椿山荘において開催することになりました。あの桑野の母校に学んだ同窓生が相集い、愉快地桑野の昔を偲び楽しく語らう年1回の好機会であります。どうぞ多数の会員の方々が奮ってご出席できることをお願いいたします。

今年の総会においては、2年目毎の役員の改選が行われる予定であります。改選の度に益々充実され

る役員陣のご努力で会は年々発展してまいりました。今回も一層頼もしい陣容となることを期待いたします。

何によらず世話役というものは骨の折れるものですが、就中会員名簿の整備と立派な会報の作成が、会運営の基盤造りの為、又会員に対する情報手段として最も大切なことです。皆様のご協力を得て努力を続けて行きたいと思えます。

それでは、来る4月の総会には多数の会員の皆様が、ご出席下さって、盛大な懇親会となりますよう期待いたし、ご挨拶を終わります。



東京桑野会定期総会開催のお知らせ

東京桑野会の一年のメインイベントである、定期総会と会員の懇親会を開催します。

会報の一面にもありますように、同窓生の親睦を図り、仲良く楽しい会員の頼りになるような会にするためにも、できるだけ多くの方々が参加されますようご案内申し上げます。

- 期 間 1989年(平成元年)4月14日(金)
- 時 間 午後5時 — 受付開始
午後6時 — 総会
午後6時30分 — 懇親会
- 議 題 1.会務報告の件
2.予算決算の件
3.役員改選の件
4.その他
- 場 所 目白 椿山荘
東京都文京区関口2-10-8 (Tel03-943-1111)
J R目白駅、地下鉄有楽町線江戸川橋下車
- 会 費 懇親会費 8,000 円 (学生 3,000 円)
1989年度会費 2,000 円

なお、当日出席できない方は、同封の振込用紙で年度会費2,000円のお振込みをお願いいたします。

◇準備の都合もありますので、出欠の返事を同封の葉書で3月末日までにご返送下さいませよう申し上げます。

◇また、連絡もれもあるかと思われますので、恩師やお知り合いの方もお誘い合わせのうえ、多数のご出席をお願いいたします。

◇昨年度は、昭和64年4月15日に開催され、200名を越える参加者がありました。年毎に盛会になりつつあります。前回は上回る参加を期待します。

◇桑野会の名簿は、残部があります。ご希望の方には一部500円でお頒けします。

◇年度会費2,000円は、会の運営のためには是非必要なもので、ご欠席の方は同封の振込用紙でお振込み願います。

母校だより

□吉田校長就任

昨年4月の人事異動により、3年間在任された松田友吉校長が勇退され、後任として吉田彌先生が、福島県教育庁高等学校教育課長から着任されました。

吉田校長は安積の出身(60期)で、長い歴史のなかで初めての安積出身の校長が誕生しました。

先生からご挨拶の文と、教え子である田母神俊雄氏(80期)からは吉田先生についての文を寄せて戴きました。

□野球部

・昨年春の県大会において準優勝し、東北大会においては4強入りを果たしました。

県大会決勝 安積-福島北 0-2
東北大会準決勝 安積-仙台育英 0-12

・夏の全国高校野球大会県予選では、準決勝まで進出しましたが、惜しくも強豪学法石川に敗退し念願の甲子園出場の夢は実現しませんでした。

2回戦 安積-安達 8-1

3回戦 安積-喜多方 8-4

4回戦 安積-相馬方 4-3

準々決勝 安積-湯本 4-2

4回戦 安積-学法石川 4-8

秋の全国高校野球大会予選では、2回戦で湯本に12-9で惜敗し、東北大会出場はなりませんでした。

□野球部後援会の発足

1988年9月10日設立総会が開かれ、安積高校野球部後援会が発足しました。東京桑野会を代表して土屋幹事長が出

渉外担当支配人
竹花則栄(55期卒)

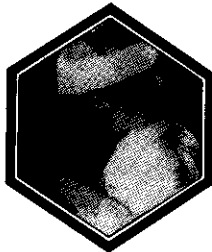
CHINZAN SO
椿山荘

東京都文京区関口2-10-8

TEL(943)1111

◎藤田観光

- 大小23のご披露宴会場。
- 800名様までの日本料理・フランス料理着席ご披露宴。
- 庭園での記念写真も随時お撮りいただけます。
- チャペルの挙式もできます。
- 最新機能の音響・照明設備。



只今、ご婚礼・ご宴会ご予約承り中。



華やかな「宴」のとき。

席し、会として入会しました。

「悲願」にむけてのバックアップ体制づくりにご協力下さいますようお願いいたします。

連絡先 後援会長山口 進氏
(郡山市郡山観光タクシー(株)社長)
Tel0249-45-0700

□演劇部・合唱部

東北大会において優秀賞を受賞しました。

□水泳部

昨年秋の県大会において初の総合優勝を果たしました。

□安積桑野会総会の開催

昨年9月11日、安積桑野会(本部)の総会が母校旧本館で開かれました。東京桑野会からも澤田会長、土屋幹事長他多数が参加しました。

恒例の講演会の講師には本会の吉田副会長が招かれました。

総会のあと開かれた懇談会は、佐藤新知事就任直後でもあり、専ら新知事誕生の祝賀会のようなものでした。

□「安積歴史博物館」からのお願い

1889年竣工の「旧本館」は今年で百年を迎えます(本文座談会参照)。市民や地域の人々の期待に応えるべく、昭和61年より財団法人「安積歴史博物館」として運営してきております。

現状の内容の一層の充実をはかるべく、「安積歴史博物館運営委員会」を設け、「運営委員のお引受のお願い」を展開中です。ご協力、よろしくお願ひします。会費10,000円の納入をもって、運営委員のお引受をお願いするものです。

連絡先 〒963 郡山市開成5-25-63
財団法人 安積歴史博物館
Tel 0249-38-0778

会 員 動 向

●佐藤栄佐久氏(71期)は昨年夏の暑い福島県知事選挙で圧倒的な得票で当選(1988年8月2日)され、県政史上初の安積出身者の知事が誕生しました。お祝い申し上げるとともに、今後のますますのご活躍をお祈りします。

佐藤知事からは東京桑野会へのご挨拶と、土屋幹事長には新知事へのお祝いと激励の文を戴きました。

●古川 清氏(63期)は2年10ヶ月のオマーン大使の大任を果たされて帰国、この度特命全権大使・北海道担当に任命されました(1989年1月27日)。

古川大使のますますのご活躍をお祈りします。

●叙勲

◇高瀬 禮二氏(46期)は昨年秋の叙勲で、名誉ある勲一等瑞宝章を受けられました(1988年11月3日)。1984年の澤田会長に続いての叙勲をお祝い申し上げます。

渡部喬一氏(64期)には氏の叙勲を讃える文を寄せて戴きました。

◇小塚 光治氏(元母校教師、桐光学園理事長)は昨年秋の叙勲で勲四等瑞宝章を受けられました。

氏は昭和16年10月から18年4月迄母校で歴史・地理の教師として奉職され、その後神奈川県議会議員を勤められ現在は、学校法人桐光学園理事長・同高等学校校長・同中学校校長をされています。

■訃報

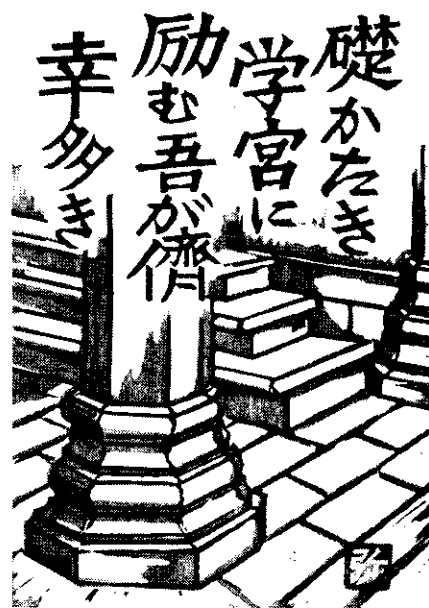
◆影山 彦康氏(51期、元三菱自動車工業株勤務)は、1988年6月3日逝去

されました。ご冥福をお祈りします。
◆山田 広氏(77期、元外務省原子力課長)は、1988年9月8日急逝されました。ご冥福をお祈りします。

外務省の同僚である橋本逸男氏(79期)には、氏を悼む文を寄せて戴きました。

◆佐藤潤四郎(39期、ガラス工芸家)は、1988年10月23日逝去されました。氏は1987年11月に、ガラス工芸家としての大きな功績により「県外在住功労者賞」を、本会の澤田会長とともに受けられたばかりでした。

氏の著作「ガラスの旅」より、福島県にゆかりの部分の一部転載させていただきました。カットも氏の作品(「図書」より)を使わせて戴きました。



柳沼彌重作

●安心を積立てて、教育・育英費用に
積立こども総合保険

●安心に満期返れい金の楽しみも
フェイス(積立家族傷害保険)

●8つの保険を1つにセット
自家用自動車総合保険

まさか!のために

興亜火災

相談役 **赤城海助**(第43期)

本社 〒100 東京都千代田区豊が間3-7-3
☎(03)593-3111(大代表)

東京桑野会
の皆さんへ



福島県知事

佐藤 栄佐久 (71期)

安積高校東京桑野会の皆さん、お変わりありませんか。

私は、昨年、参議院議員を辞し、郷土の発展のためにこの身を捧げるべく、郷里に戻って参りました。同窓会の皆さんの心温まる御声援に支えられ、毎日、元気に知事としての務めに励んでおります。

209万福島県民の幸福と健康をこの双肩に担い、その重責をひしひしと感じております。知事という立場にありますと、議員の場合とは異なり、行動の一挙一動、さらに発言の一言ひとことに責任が伴いますので、覚悟はしております。減私奉公とは正にこういうものと痛感しております。

地方行政の側に立ち、改めて郷土の姿に目を向けてみまして、そのすばらしさ、隠れた魅力を再発見し、驚嘆しております。

東京の人たちが求めているゆとりとるおいのある生活が、東京にこんなに近い距離にある福島県では夢ではないのです。

私は、県内に住む人のためのみならず、大都会に住んでいる人々のためにも、全国に誇れる福島県づくりに邁進して参らなければならないと、決意を新たにしております。

安積魂を県政へ！

東京桑野会幹事長

土屋 七郎 (57期)

1988年9月4日安積七不思議の一つ福島県知事誕生である。対立候補を圧倒的多数で破り佐藤栄佐久氏の当確をラジオで耳にし、早速同氏の福島と郡山の選挙事務所に勝利の祝電を打つことが出来たのである。

今度の福島県知事選は地方選挙では稀にみる全国的関心を集めた激戦であり、まさに自民党を真二つに分けて中央政界をゆさぶる一大選挙となった。

それもその筈自民党より対立有力候補が二人立候補する事になったのである。それまで中央の大御所連が仲裁に入って調整したが失敗してしまい、ついに泥沼に突入したのである。

わが佐藤候補は大蔵政務次官のポストを敢然と投げすて福島県政はどうしても自分がやらなければならないとの信念に燃えて血みどろの選挙に打って出たのである。

相手候補はすでに一ヶ月以上も前に立候補を決意し、物量作戦に破竹の進撃よろしく支持県議団も2/3をしめる布陣である。

これまで自民党の調整工作に手間どり、ぎりぎりになっての出馬となり苦しい戦をしいられる状況となった。こんな訳で東京で耳にする選挙戦は佐藤候補にとって必ずしも有利に展開しているとは思えない状況であった。

こんな状態のときに東京桑野会有志

で、みんなで何とか応援しようという話が出て、まず福島県内の有権者に対する橋渡しと若干の資金カンパをする事に決ったのである。

8月中旬に話しが決り8月28日に私がカンパ資金を持参して選挙事務所を訪問する事になり、わずか10日間位しか日がなく当初資金が予定通り集まるかが心配でしたが、我が信頼する安積のOB達は見事目標額の百万円を突破したのである。

選挙戦の真只中8月28日予定通り郡山の選挙事務所を訪問し陣中御見舞金を渡す事が出来ました。事務所の皆さんは安積出身者が大半で、手弁当て夫々の役割分担を発揮して居られる様子でしたが、我々東京桑野会の佐藤候補に寄せる好意に大変感激された様でした。骨折り甲斐のあった事を痛感した次第でした。

その夜小学校での演説会は超満員で大盛況であり、東京で耳にした噂とは雲泥の違いであり更に、私が猪苗代、若松、喜多方と廻って聞いた佐藤候補圧倒的支持との状況に安心して帰京する事が出来ました。

こうして誕生した佐藤知事49才と極めて若く情熱と努力の人必ずや立派な福島県政の舵とりとなられるよう切望する次第である。そして我が安積魂を天下に燦然と輝かさせんことを願うものである。

(東洋大学理事・渡辺電務社)



株式
会社

渡 辺 電 務 社

電 気 設 備 設 計 施 工

本 社 東京都江東区三好1丁目1番2号
電話東京(641)0136番(代表) 千135
千葉営業所 千葉県千葉市都町2丁目5番1号
電話千葉(0472) (31)9287番 千280

取締役社長 渡辺豊定(58期)
(旧姓沢村)
取締役副社長 土屋七郎(57期)

ごあいさつ

安積高等学校長

吉田 彌 (60期)

昨年四月、安高校長を命ぜられました。安積は、私にとって母校であり、長い月日、教壇に立たせていただいたところでもあります。

職務上、たくさん卒業生にお会いします。おしなべて、在りし日を偲び、安積の今日と明日を思う姿に感銘します。駅のあるほとんどの町に高等学校が見られるほど、後期中等教育が普及するにつれ、その学校独自の校風が色あせています。広がり、中味の平均化、均質化を生み出します。昨今、学校の個性化が要請されているのは、学校の教育力の回復とつながった課題です。

安積百四年は、わが国近代化の黎明から成熟までの歴史であります。安積百四年も大きな変化の歴史であったに違いありません。しかしながら、私どもの目に映るかぎり、師弟の絆は固いし、勉強、部活動などでの、ひたむきさやがむしゃらさは、失われることなく、なお保たれています。そんな形で、安積の質実さは、安積を、均質化の波に埋没させない、不思議な品格を残す学校にしております。

卒業生の多くが安積を愛し続けるのは、功なり名とげた方々が蛍雪の日を懐しむ心情によることも、確かにあることでしょうが、むしろ、安積に学んだ日に心に染めた色が、生涯の色として生き続けている、そんな思いのなせることだととらえると、すごく納得で

きます。そう考えると、何時の時代にあっても、学校で一番大切なのは師と弟の結びつきであり、友と友との結びつきです。安積は、その点でこそ、強く、大きな学校であり続けたいものです。

現在、本校には千五百名近い生徒が在籍しております。生徒諸君が、若い今、どう人生をとらえ、どう努力するかは、間違いなく、この人たちの将来の人生にかかわってきます。なぜなら、一つのこと、ひたむきになれた人は、又、何事にも、ひたむきになれる人です。安積に学ぶ若者たちは、今、大学の可否のレベルをこえて、もっと、もっと重い意味で、人生の岐路を生き続けているわけです。自分一人だけでなく、社会にも、国家にも、世界にもかかわって生きてゆくはずの安積の若者を、キラキラと輝く目と心を持った人間に育ててゆくこと、それが、安積高等学校の教育をはずけられた、私どもの使命であると身をひきしめております。

東京桑野会の皆様からは、いつも、変わらない御援助をちょうだいいたしております。心から、御礼を申しあげます。皆様の御活躍を、心から祈念いたしまして、ごあいさつといたします。

真の教育者

田母神俊雄 (80期)

1年生の夏休み期間中の補習授業の時のことです。休憩時間になって教室を出ると、隣の教室が廊下にまで溢れ

るほどの生徒でいっぱいになっていました。いったい何だろうと思って覗き込んでみると、吉田彌先生の現代文の講義が行われているところでした。まもなく授業が終わり、S君が出てきたので「凄い、いっぱいだね」というと、彼は吉田先生の国語の講義が素晴らしいので、こんなに多くの生徒が集まってくるのだということをお話してくれました。

当時は正規の授業のときは自分のクラスで授業を受けなければなりませんでしたが、夏休み期間中の補習授業に限り、生徒が自由に教科や先生を選択できるシステムになっていたと思います。私は2年生と3年生の時に吉田先生のクラスでしたが、このときはまだ先生のことを良く知らなかったもので、そんな凄い先生がいるのかという軽い印象でした。

2年生になってクラス替えがあり、私は吉田先生のクラスになりました。そして初めて先生の国語の講義を受け、授業は論文の解釈でしたが、こんな文章の読み方があるのかと強烈な印象を受けたことを覚えています。それまでの私は国語といえば、漢字の読み書き以外は常識で解決できるという程度の認識でしたが、このとき初めて国語が漢字の読み書きだけではないということを知ったような気がしました。また同時に前の年の夏休みの補習授業で吉田先生の教室に生徒が溢れていたことを理解することができました。

先生の講義は本当に素晴らしいものでしたが、それにもまして講義の途中でよく実施して頂いた人生訓話は印象に残るものが多くありました。先生は

株式会社 東京シンクサービス

●業務 特許公報の抄録・翻訳、工業技術の指導・調査

●特色 高齢者の雇傭

(全従業員の91%が60才以上、70才以上は54%)

〒101東京都千代田区内神田2-13共同ビル

電話 (03)254-5805

代表取締役 鎌田 正二(43期)

いつも左の手のひらの上で右手で手刀を切りながら、「いいかい」を反復しつつ、君達は今どうして勉強しているのか、人は何のために生きているのか、仕事とは、結婚とは、子供の教育とは等人の生き方に関する話を良くされました。その話の内容から、国家や社会の発展のために貢献できる場所に人生の幸福があると先生は考えておられると私は思っていました。

私は、去年不惑の年齢を迎えましたが、心の中はとても不惑とは言い難く、人が正しく生きるためには先生が話されたようなことは極めて大切であり、若い時代に吉田先生の人生論を伺ったことはとても幸福であったと思っています。

私達が安高に入学したのは、東海道新幹線が開通し、東京オリンピックが開催された昭和39年ですが、もうあれから四半世紀が過ぎたかと思うと月日の経つのは本当に早いものです。在校間の社会の動きを思い出してみると、当時はカラーテレビ、自家用車、クーラーが三種の神器と言われた頃です。今を時めく大手の証券会社なども倒産の危機にさらされていました。中国の紅衛兵、テレビの「おはなはん」、小説「氷点」、「巨人、大鷲、卵焼き」、加山雄三の「君といつまでも」、「ペ平連」なども私達の高校時代の思い出になりました。ツイギーのミニスカート旋風も確かこのころの出来事でした。

時代も人もが大きく変わるような気がしていました。そして私は、不惑を迎えた今日、時代は変わっても、嬉しいときには喜び、悲しければ涙を流し、またあるときには腹を立てるとい

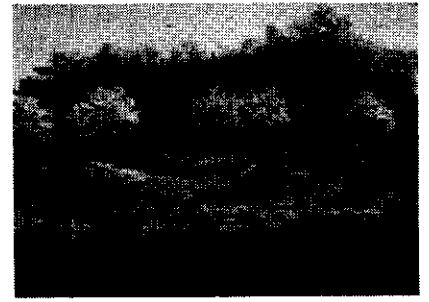
間そのものはほとんど変わらないということに気がつきました。このことを考えるとき、若人に対する教育には、時代が変わっても変わらぬ真理があり、それは人生の生き方の指針を与えるものではないかと考えるようになりました。

私は受験戦争と言われる中であっても、私達にいろいろと人生について語りかけてくれた吉田先生こそ真の教育者であると思います。吉田先生を校長先生に迎えた懐かしい母校安積の一層の発展と恩師吉田先生の益々の御健勝を祈念してお祝いの言葉にしたいと思います。

奥州の板ガラス 「ガラスの旅」より

佐藤潤四郎 (39期)

板ガラスの歴史は新しい。始めは窓とか穴とかそこから光を取っていた。雨風の折に困って、永い間苦心して、貝殻を瓦葺にしたり、大理石の薄片で、光を取っていたものが、やがて瓶を壁に象嵌したりしているうちに、瓶の底だけを切りとって並べたり。人間の知恵が、クラウンガラスを考えさせて今日の大量の板ガラスが大量に生産されて人々はむしろ、板ガラスについては、あまり驚いている様子すらない。ところが徳川期に、白河楽翁はガラスのびょうぶをしかも東北の福島県の須賀川で作らせたという話が伝えられているから、びっくりせざるを得ない。一体どんな作り方で製造したかはおしはかることさえできない。



白河小峰城跡

おそらく流しこんだ部厚い板を丹念に薄く減らしたものであろうか。(中略)

寛政(1789~1801)年間に奥州須賀川では松平楽翁が、永壺なる名工を招へいし板ガラスの製作を行わしめていたということが述べられている。(中略) こうした大事なことが福島県の人々は殆ど知らないことらしい。この夏白河のガラス屋さんを尋ねた日、白河の南湖公園にある藤田記念館を尋ね、楽翁公の話を出してみたが、全々お話にならなかった。私の中学同級生が須賀川の市長をしているので、そのことについて依頼しておいたがやはり何の反応もない。こんなことでは勿論問題にはならないけれどここでは研究資料だけ提供しておこう。(中略)

白河の南湖公園はまあ平城に近い白河の城跡から南に作られた日本初の公園で、その公園から程遠くない旧道に白河の関所跡が残っている。今はあまり尋ねる人もない。この関所に一番、楽翁公の精神文化的なものが残っている様な気がする。

ガラスに関する限り福島県の白河の関は勿来の関の様だ。関所といえばこの二つの関所の地形景観が大変よく似ているのも不思議といえよう。

騒音・振動・超低周波

〈計量証明事業登録第507号〉

- 現況調査 ○予測計算 ○防止対策計画
- 消音・防振装置の設計と製作
- 実績 エネルギー・運輸 金属・化学
電子・機械 繊維 機械 紙パ
自動車 造船 食品



東昌エンジニアング株式会社

〒108 東京都港区港南2-12-26 港南パークビル

電話 03-471-5891 代表

代表取締役 鈴木健生 (第48期)

佐藤屋の雨戸

——市原三郎先生を偲んで——

大森直道 (49期)

一昨年(1997)年の瀬、市原先生が亡くなられた。

その訃報を聞いて「少し早すぎる」との思いがふと胸をよぎった。というのはその一年前の同じ頃千葉市加曽利の先生を訪ね、意外にお元気な様子に接していたからだ。数年前から先生御病気の噂はあった、蜘蛛膜下出血で、一命はとりとめたものの失明したということだった。お訪ねしてみると既に健康は十分に回復しておられ失明しているはずの目も、「大森君、随分白くなったな」ということで、日常身の回りを自分で始末されるのに不自由はない程度でおさまっておられた。

積るお話しの中で、「僕が生徒の質問に立ち往生して、そのため一念発起、文理大に進んだ話しが新聞にのって、某君がその切り抜きを送ってくれたよ」と何々大笑いされた。その伝説がうそかまことか私は知らないが、とても面白そうに話しておられた。後にそれらの記事が一本になったのを早速お送りしておいた。その本と一緒に今は亡き阿部善雄さんの〈最後の「日本人」—朝河貫一の生涯—〉を添えた。流石に先生は歴史学者らしく、いさゝか感激されて丁寧な礼状と一緒に送り返えされて来た。(同書は阿部さんが献呈辞を自署して私にくださったものなので、もはや彼の形見であるから、読み終わったら返して欲しいとお願いしてあった)

お会いしての印象、後遺症の程度、それに(勿論御家族に読誦してもらったことと思うが)短時日の間に相当大部の本を読破された気分の程度などから、私は一年後の先生の死を予測できなかった。訃報を聞いても暫く意外の感を拭えなかったのである。

二年生になって最後の授業の時にいきなり「佐藤屋の雨戸」の話しをされた。佐藤屋とは勿論或る時代の安中生なら誰でも知っているあの南町の角の下宿部屋のことである。古くさいモダンボーイ蓮見長先生(思想的には大の開明派だった)を頭目に錚々たる安中健児が巢食う梁山泊である。市原先生もそこに暫くおられた。その佐藤屋の雨戸にガラスの小窓がついていると言って先生は興奮されるのである。東北の冬は厳しい。雪でも来ようものなら障子紙一枚で外の寒気を遮断できるものではない。その時はひるひなかでも雨戸を立てなければならぬ。ガラスの小窓はそのための明り取りである。「まさにこの小窓は東北の風土気候から生まれたものである」と興奮される。ポカンとしてその話を聞いていた。しかし何か気にかかったとみえて今まで覚えていた。

三年の時創立五十周年祭があった。記念展覧会の準備で寄宿舎の空き部屋で上級生がボール紙に等高線を入れて立体地図を作っていた。五万分の一の地図に何やらごちゃごちゃした線があって地図を読みにくくしているが、それが等高線だとはこの時始めて知った。立体図形は綺麗に彩られ展覧会場を飾った、その指導は勿論市原先生であった。

今にして思えば地理という教科は、教科書に書かれた文字、地図に描かれた絵を誦する教科ではありませんよ、地球上の風土、気象、そのもとで営まれる自然現象、そこにへばりついている人間の文化のすべてを有機的に捉えうる学問ですよ、と生徒に教えようと言われたに違いない。「佐藤屋の雨戸」は、フィールドワークを重視する新しい地理教育の貴重な教材だったのだ。立体地図を熱心で作っておられた滝田伝三先輩が後に今の国土地理院にお入りになられたのは決して偶然ではないのである。

先生の遺著「含笑花」の序文の一部を御紹介して一文の終りとする。

古びて朽ちかけた木の扉を開けて、わが家の小さな門を入ると、淡い甘い香がやわらかく漂ってくる。私の心はまるやかにやさしく包まれる。カラタネオガタマの木の花の匂いである。

この木は私が44年3月附属小学校(千葉大)長を辞めた時、PTAの方々が記念に植えて下さった有難い常緑樹である。その時は一メートルぐらいであったが、今では二メートル余りに伸び、枝は四方に張っている。五月には沢山の花が咲く。大きいのはピンポン玉、小さいのは鶉の卵ぐらいで、クリーム色の花卉の縁が薄紫に彩られた清楚な花である。

中国の郭沫若氏はこの花を含笑花と稱して殊のほか愛好されたという。文字通り、笑いをふくんだ顔のような愛らしい花である。……

公認会計士 星 武典 事務所

〒101東京都千代田区神田錦町2丁目5番地(KSビル3F)

TEL(03)291-8361 FAX(03)291-8465

星 武典(58期)

座談会『竣工百年 思い出の旧本館を語る』

〈出席者〉・椎野 喜勇 (40期)=元母校教官
 ・澤田 悌 (42期)=東京桑野会会長
 ・吉田 弘俊 (52期)=五十嵐冷蔵専務
 ・古川 清 (63期)=オマーン大使
 ・大津 隆 (63期)=オオツヤ社長

・齊藤 英彦 (69期)=弁護士
 ・椎野 靖啓 (78期)=東京消防庁
 ・玄葉光一郎 (96期)=松下政経塾生
 ・司会=水口 禎 (67期)
 桜井 淳 (78期)

1月21日 於：京王プラザホテル

—鹿鳴館もかくや、という桑野御殿つまり旧本館は地元の誇りでもありました。今年は竣工百周年にあたります。これはパリのエッフェル塔と同じなのです。きょうは旧本館にまつわるエピソード、思い出、秘話をお聞かせいただきたいと思います。

古川 木と鉄。おのおのの特性が現われたものですね。

椎野喜 欧州形式の、だけど法隆寺級の価値をもった建築物と言ってもいいんじゃないかな。

澤田 石は須賀川のものが使われた。

椎野喜 そうそう。そして瓦は兵庫の姫路のものがね。でも、今は全部代っているけども。

—周辺も大分変わったんでしょね。

椎野喜 校域にはずうっと香木が植わっていた。あるとき、夏休みが終わって出ていったときだが、これがみんな「ゴリゴン坊主」になっちゃった。根っこもない。みんな安積卒業の先輩の大校長ではなかったわけです。(笑)

大津 もったいないことを…

椎野喜 もっとあるんです、木の話。ご存知ですか。講堂の裏に紅山桜があって、開成山では唯一無二。安高でなければ見られない。朝日

に輝く光景は、とても印象的で…



澤田 正門の先の、玄関の向かって左にソメイヨシノの大木があつてね。それは見事なものです。

大津 いつの間にかなくなってしまうたんでしたよね。

椎野喜 そして、こともあろうに銀杏の木なんか、植えてある。木の品格が違う。

—安高が郡山に来たことに関して、実は県庁も移転するはずだったという話を聞いているんですが

吉田 私が入学した、昭和10年頃の噂なんですが、県庁を福島に留める代りにね、その交換条件として安中がね、郡山にきたという…



齊藤 私らもその話は聞きましたね。

吉田 そしたら、古文書というか、県庁あたりで調べてみたら、明治18年でしたか、県議会で議決してるんですよ、郡山へ県庁が来ると。—それが、どうしてひっくり返ってしまったんでしょうか。

吉田 決議を内務省へ持っていった。あの頃の内務省ってのは、ご存知

の通り薩長で。それで威張っておって、けしからん決議だってことになってしまった。

澤田 真相は判らんのだけど、交換という説が今でもずっとある。

—どちらなのかは判らない、と。

澤田 だからね、それは政府から却下されたから、それでは代りに、と中学を持っていくとしたのか、それ以前なのか。その辺はよく判らん訳です。

吉田 よく調べた訳じゃないんですが却下される前に桑野村って決定してるんです。だから、ね。

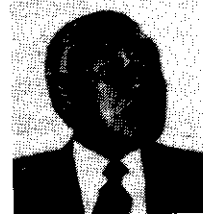
椎野喜 とにかく、話の出発点が明確になってないんですね。

—ともかく、県に一つの中学校で、当時の先輩は各地から優秀な人材が集ってきていた。

椎野靖 高山樗牛も米沢の人ですね。

椎野喜 安田財閥の安田さんも東京から来た。朝鮮からも。

古川 古い時代のことを考えると、どうも私は大久保利通を感じるんです。旧武士階級の不満を吸収するために、猪苗代湖の水に白羽の矢をたてたと。



齊藤 なかなか興味深いことですね。

古川 桑野村周辺に、一種の理想郷を

索道施設の総合設計施工管理

豊富な経験、最新の技術、万全のアフターサービス



東京索道株式会社

本社・工場/横浜市金沢区鳥浜町12-9

☎045(774)7111(代)

札幌営業所011-232-5382/仙台営業所022-267-0544
 新潟営業所025-241-7147

代表取締役社長 横尾 稔(第66期)

- ゴンドラ
- スキーリフト
- ロープウェイ
- ケーブルクレーン

つくってみようとしたんじゃないかと思うんですよ。

大津 学校も、そういった考えの中でつくられたのでしょうか。

椎野靖 とにかく、明治政府が、安積の地の開拓に目をつけたということは間違いない。

澤田 大久保亡き後、推進したのは松方正義の力が非常に大きい。

——ところで、麓山公園に昔、安積疎水の安積の滝っていうのがあって、そう9mもあってですね。それを今度復活させようという話があるそうですね。

大津 お社があったところですね。

斉藤 安高は「水」とは縁がありますよね。学校つくるとき、安積は水が悪いから他の所にすべきという声が出たのだとか。

吉田 郡山から白河か須賀川に移転すべきだとね。できて8年目かな。

澤田 確かに水は全然だめ。大槻の方からもってきたんだ。

吉田 そのときに安積郡長が県知事に出してる。水は良くする、井戸は掘る、防風林をつくる。健康には支障ないとゴチャゴチャ書いてですね。

澤田 でも私のころね、井戸はない。掘ったって掘ったってだめ。

——正門から校舎に向かって左、自転車置場のあたりに古い井戸、ありましたか。37年頃でしたか。

吉田 だがひどい水がチョロチョロ。

椎野喜 それでね。わざわざよそのお寺にね、水飲みに行ったんだね。

古川 よくそんな所に学校作ったね。

澤田 あとで気がついたんだろうね。

——話は前後しますが、開成館とか、

先輩の建物が既にあった訳ですね。

吉田 明治11年に、明治天皇が開成館にお泊まりになった。その11年後に安積中学の校舎ができた。



大津 金透小学校は安積より古い建物ですからね。

古川 それにしても設計者がわからない。非常に残念ですね。

斉藤 誰なのか発掘したい。

吉田 私はね、安積中学に入った時、ヨーロッパというか西洋をね、感じたんです。天井が高いってのは素晴らしい。

椎野靖 その点、開成館は低い。

吉田 低い、低い。

古川 旧本館は設計者に外国人が入っていたのかもしれないね。

大津 ただ私らのときは補修が不十分でした。

古川 窓には鉄の重りが入っているんですけど、落っこちちゃって、窓があがらない。その鉄をね、ストープで焼いたり…。嫌いな先生がくると焼けた重りを机の上に置いて…。悪い人もいた。(笑)

——戦争中、直後ですね。その頃は悪戯がね、あったと思うのですが。

古川 焼夷弾が怖かった。それで天井を間引きする。天井の板をはずしましたでしょ。それで、梁やなにかがね、考えられない程大きいんだものね。

椎野喜 二階の火事騒ぎがあった。玄関の東の教室の隅の方にね。硫黄

に火をつけて。相当へこんだところがあるんですよ。



椎野靖 でも、ガソリン放火の時火がつかなかったと聞きました。木材が素晴らしくて。

——先輩たちから聞いたことですが、二階に講堂があるのは珍しいと。

古川 重量計算をし、かつ構造的に非常に強靱なものにしたから可能だったと聞きましたね。

吉田 あこがれの校舎でしたよね。1年生は入れない。

大津 そうでしたか。

吉田 2年になると入れる。それが嬉しくて嬉しくて。

椎野喜 昔は購買部の前に2棟の寄宿舎があったでしょ。

吉田 ありました、治外法権みたいなかんじで。

椎野喜 舎監の先生の許可がないと入れない。

吉田 ラッパ士の村上さんがうるさかった。

——ラッパ士、ですか。

椎野喜 時間をね、ラッパで知らせるんです。

吉田 集合、解散、消灯…

澤田 昔の軍隊もそうだったけど、もの哀しいメロディで。すると皆、家を思いだしてホロッときたりして。

吉田 うん、寂しくなっちゃう。——ほとんどセットだったんですね。

当時の本館と寄宿舎は。

古川 それをですね。近在の人は弁当

有利さて選ぶなら

中期国債ファンド

1カ月複利の効果で

いつでも一番有利



かいせい

借成証券

本社 東京都中央区日本橋兜町13-2
☎ (666) 1431 (大代表)

取締役企画部長 近内靖夫 (第69期)

持って見に来たというんです。

吉田 桑野御殿ですから。白亜のね。

斉藤 白塗りだったんですね。当時は。

それが、変わりましたよね。

——ページジュというか、アイボリーというか。そんな時もあった。そして復元される時グレーになったというのは、元々の色になったと聞きました。

椎野喜 おそらく、関西の方へ見学に行って参考にしたんでしょう。

——保存のための努力というか、その辺のことをお伺いしたいとー

椎野喜 明治村あたりにそっくり寄付したら、なんて話もあった。

吉田 宇都宮高校も同じような校舎でしたがー

椎野喜 安高の価値はあの膨大性にある。あの大きさにですね。宇都宮は両袖をとっちゃってバルコニーだけにして、白く塗った。

大津 今もあるんですか

椎野喜 様式を真似ただけらしくて、資材なんかは、その、極めて貧弱なわけです。当時の建物で残っているのは全国的に見て安高だけじゃないのかな。



斉藤 あのような校舎は二度と再び建てられないものかもしれません。

吉田 大きいといますとね。京都の三十三間堂、これと近いです。

椎野喜 三十三間堂の仏様はみな顔が違う。安高の(仏様)はそれ以上なんだから。直接、日本に貢献し

た人物ばかりなんだからね。

——敷地ですが、安高は12000坪ですが構想は15000坪だったとか。

椎野喜 コートの南の一角、あそこが敷地に入る予定だったが、土地の所有者がいてね…。それで角がとれちゃって。

吉田 話が飛んでなんですけど、テニスコートがあるでしょ、あそこからずっと傾斜になっている。それで野球部が甲子園に行けない。なだらかな坂で練習しているわけですからね。

——レフトとかセンターの方が、上がっています。

椎野喜 やっぱり平らなところで練習しないと。

大津 整地して平らにしたら、甲子園に行けるかもしれない。

——本館をこれからどのように管理し保存していくのがいいのか、についてはいかがでしょうか。

古川 卒業生だけに頼っていくのでは先細りになるのは必至です。

斉藤 県の、というより、国の宝、貴重なものであるとして、予算をしっかりとつけて…ということになるでしょうね。

大津 ただ博物館としてですね。法的にカチッとしてしまっ、その結果、今の在校生が使えなくなってしまうのはね。

玄葉 今だって使えないんですが。

吉田 使えるような道はないかと…。

——現在の在校生も“ボクらの校舎、という愛着、愛情をもてるような方法はないのでしょうか。

椎野喜 前のね、森文相が来たときに

ね。一步入ったときに天井みて「いやあ、すごい」って感嘆の声をあげたんです。

吉田 それだけの歴史博物館ですからね。

椎野喜 それを、生徒に開放して使うには、うんと危険が伴う。

玄葉 今の在校生、というか私達の世代も含めて愛着心も弱いと…。(笑)

——その辺を、心の問題としてどう対応していくのか。

玄葉 確かに我々の年代は愛着がなくさめているのは事実かもしれない。だから、せめて安積の歴史を教えるとか、伝統についての教育とか。そういったものがなくなってくるんじゃないかと思っています。

——旧本館といってもピンと来なくなっている。ますます、そうなっていくような気がします。

椎野喜 伝統を教える。つまり、そういうことなしには、本来教育は存在しないんです。安高に学んで安高を知らないというのでは、これは全然だめなんです。東大でも、一高でも、カラーがあるんですから。純粋な安積人にならなければ教育の意味はない。

玄葉 我々のころは、沢山ある進学校の一つ、という印象しか…。

椎野喜 しかし、中山義秀先生曰く。「受験だ、灰色だと嘆いているヒマがあったら、あんたが歴史をみどりにしろ」と。



東北一円足まめに……。ふるさと商いは心です。
世界のトップファッションをネットワーク。

ふる里の肌ざわり 采女印製品
お店の繁栄 豊かな暮らしをリードする

総合衣料問屋



株式会社 金大

福島県郡山市喜久田町卸1丁目68の1
TEL (0249)59-6464

代表取締役社長 小針 良雄 (67期)

澤田 我々はあの本館なしには母校は考えられない。

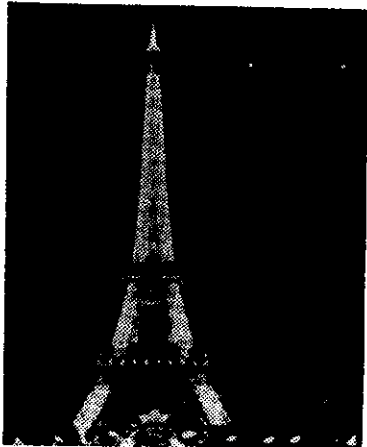
葉 私たちは利用していない…。

古川 そういった現実ね、ギャップを考えて対策を練らないと。

大津 老人のノスタルジアととられるかもしれないが…。

古川 それでも、ノスタルジアを取り去って、貴重な建築物を保存するという冷めた観点から、きちんと保存のための働きかけをしていかななくてはならないと思いますね。安積スピリットを受け継いでいきながらですね。

—話は尽きないのですが、またこのような機会をぜひ持ちたいと思います。みなさん、忙しいところを本当にありがとうございました。(編集・丹治)



エッフェル塔 石井幹子撮影



母校旧本館

	旧 母 校 本 館	エ ッ プ エ ル 塔
時代背景	<ul style="list-style-type: none"> ・安積開拓の開始 1874 ・安積疏水 1882 ・大日本帝国憲法発布 1889/2 ・米の凶作 1889 ・鹿鳴館 ・条約改正・日清戦争・米騒動前夜 	<ul style="list-style-type: none"> ・普仏戦争 1870~1871 ・パリコミュン 1871 ・対独報復運動から産業立国へ
建設動機	<ul style="list-style-type: none"> ・福島市から桑野村への移転 ・母校福島市において創立 1884/9 ・県会桑野村移転を可決 1886/11 ・県庁移転論と中学移転反対論 	<ul style="list-style-type: none"> ・パリ万国博覧会の目玉 ・フランス革命 100周年記念 ・フランスの産業立国と国力誇示
建設時期等	<ul style="list-style-type: none"> ・着工 1887/3 ・竣工 1889/3.25 ・移転 1889/3.30 ・桑野御殿として新開の地に建設され明治の優れた学校建築として国の重文 	<ul style="list-style-type: none"> ・着工 1887/1.28 ・竣工 1889/3.30 ・落成式 1889/3.31 ・世界の近代建築の囀、パリのシンボル (E. エッフェル設計)

■座談会追記 1

一柳沼彌重氏(46期,元母校教官)談
第10号の自慢話にも書いたが、旧本館は私の宝物である。国重文財に指定されるまでに尽力した人の中で、故津口信男



校長がそのきっかけを作り、草野和夫氏とともに建築史的価値を確認せたことに感謝したい。

それから、昭和24年にガソリンを用いた放火があって、年輪を積んだ木製の窓枠は、焦げた程度で済んだ。その位本館に使われた材料は素晴らしい。

扉は内開きである、これが先生をからかうための最良の遊具であった。先生は扉が重いため、全身か足を使う。これが問題で、ぬれ雑巾、黒板拭き、もっと凄いのが水の入ったバケツ等の洗礼を受けた。昔は、扉が一つしかなかったから先生を教室から閉め出してしまう等、しかし扉は堅牢で滅多なことでは破損しなかった。

それから、掃除の時2階の床にふんだんに水を撒いても下の校長室に水が漏れなかった。とにかく頑丈にできていて、ある先生は、木造の檻に猛獣を飼っているようだと聞いた。しかし、旧本館を破壊するものは少なく、代わりに机やイスに当たりちらした。

旧本館を維持管理する費用が膨大だね、今はいいが、将来旧本館への愛着のない卒業生が増えたとね、そのためには、出来るだけ在校生に使わせ、愛着を持たせることが大事じゃないか。(桜井記)

■座談会追記 2

椎野先生はじめ皆さんが指摘されている本館の「大きさ」について。

三十三間堂(116.545m)は少しオーバーですが、旧本館の間口(73.748m)は偶然にも、あの巨大なエッフェル塔の足元のスパン(74.238m)と殆どピッタリと言う「偉大さ」です。

(水口記)



宇宙・海洋・地下……

限りない可能性を追求する 総合力のシミズです。

SIMIZU CORPORATION
清水建設

「パリからの便り」

岩谷 徹 (67期)

私は日本脱出ブームともいえる昭和46年にワイフとリュックに寝袋をたずさえ、その当時一番安く一番若者の利用するシベリア経由—ウィーン—パリと12日位かけて知人としてない所に何とかなるだろうとやってきました。以来17年半何とか住んでおりますが、日本にくらべて動きのないようなパリも少しずつ変化はしております。外見的には古い所が少しずつ壊され新しいものが建てられています。時々再開発というか一年位で、汚なかったユダヤ人街の一角が20軒位のモードの店ができとまどうほどです。私ら以上の世代のパリに対するイメージは「パリ祭」「北ホテル」などの映画やダミヤのシャノンなどに影響されていますが、そんな雰囲気は容易にさがすことはできません。30年も前に渡仏した先輩の画家など屋根裏部屋から縄梯子で昇るような所に住んでいた話をききましたがそれでも夢をもって生きていたのでしょう。その人はもう今では立派な中堅作家です。今の渡仏組はどうかといいますと沢山のお金をもって居心地のいいアパートに入って、3年いて飽きるとパリにいてもどうしようもないと帰ってきます。今の日本とフランスとでは繁栄という点では格段の差があります。日本から若い娘たちが連れだって普段着でパリのソールド品を買い漁りにくる時代になりました。かつてはパリで貧乏暮らしをしながら10年、20年コッ

ツ研鑽することのできたパリの雰囲気は少くとも日本人アーティストの中でくずれはじめています。経済的な成功が唯一の目的のように掘り下げることより量産に精を出す人たちが増えています。以前フランスでは50歳前の画家は相手にされなかったとかききます。一つの芸術の方向が決るのに20年そして熟しはじめるのに又何十年か、今は果物、ブトー酒早出しがもてはやされています。芸術もそのようです。でもそうでないアーティストもパリには相変らずひそんでおります。私の住むポロアパートに同じ年のラオス人の写真家がありますが友人から借りてる標準レンズだけのニコンで黒白でパリの光、路上の表面など撮っていくら友人たちが商業写真をとって経済生活をちゃんとするように勧めても頑として我道を往くで2年以上も家賃ためて碌なもの食わずに孤独の中に自分をおいてファインダーからパリの光をながめ思索しています。昔、ガラス感光板の写真機だった頃或パリの写真家が毎日牛乳と砂糖とバゲットしかとらずに古いパリを撮りまくってそれが実に貴重な資料になってることを読んだことがありましたが、彼もそんな一人なのでしょう。そんな彼をおん出さない我々の家主も立派であります。今では毎年700軒位のカフェが店終いするとかパリジャンが利用しなくなってるのが原因なそうです。パリとカフェははなせない関係でしたが利用者の大部分は旅行者になってきております。そして汚ないカフェは衣をかえて大抵は改装し高くなりました。パリはこれから増々質を変えていくでしょう。昔の

良きパリのイメージを持つ我々には一段と住みにくい所になっていくかも知れません。パリから豊かすぎる日本を眺めて複雑な気持です。時代遅れになりつつある「芸術」にしがみつきなごらとぼとぼと歩む己の影法師を眺めている今日この頃です。

昭和63年12月23日記

(版画家 在パリ)

“昭和時代に 生きて思うこと”

遠藤 修 (67期)

昭和64年1月7日に昭和天皇が崩御せられ、慎んでご冥福をお祈り申し上げます。

昭和の時代は世界的な大恐慌に始まり、悲しむべき大戦の惨禍、混乱と窮乏極まりなき廃墟からの復興と真の独立、比類なき経済の成長と国際国家への発展と、激動の時代であった。私は昭和10年より今日まで半世紀余昭和の時代に生きて、工業化され、高度に技術化され、そして経済大国になった現状を目の当りにしたとき感慨無量です。新天皇が即位され1月8日から年号は「平成」に決った、私はこの時に災害や公害の無い住みよい環境や平和な社会を作る為に、与えられた仕事を通し微力ながらも一層努力し貢献し度いと思えます。

私が経営している会社は、公害防止や環境保全、そして災害防止関連の仕事を中心にしています。清掃工場で各家庭から出る都市ゴミを焼却したとき、また、工場のボイラーで重油等を燃焼したとき、排ガスには煤塵や有害ガス

営業品目

- 煙突・公害防止関連機器
- 貯槽・塔槽類
- 鋼構造物

上記品の

- 設計・施工監理
- 点検・庁舎・診断
- 製作・建設



株式会社 富士ハイエンジニアーズ

〒105 東京都港区新橋4丁目21番7号

つるや加藤ビル

TEL(03)434-1611 (代表)

代表取締役 遠藤 修 (67期)

が含まれていますので、集塵機や除塵機で煤塵を除去し、排煙脱硫装置や脱硝装置で有害ガスを取り除かなければなりません。更にそのクリーンな排ガスを煙突を通して高く上昇させ、大気中に放出し希釈させ、人間や動植物に害を及ぼさないようにしなければなりません。第2次オイルショックを契機に日本の省エネ技術は発達し排ガスに含まれる熱エネルギーの回収技術が大きく進歩したが、その反面、排ガス処理装置は傷み易く、寿命が短くなり、正常な稼働に支障を来すようになりました。そこで熱回収後の低温の腐食性排ガスに耐えられる装置と材料を開発し実用化し建設しました。一方、既存の煙突は、老朽化したり、構造や建設上の問題で地震被災時に折損倒壊する場合があります。このような危険な事故は宮城県沖地震時にも起りました。災害防止や環境保全の為に、独立煙突の異常を早期に発見し予防保全する為の自主点検や補修の各種基準や要領の作成に委員として参加しました。昨年度は、東京都大田清掃工場第一工場煙突新設工事、原子力研究所東海研JRR-1 排気筒改造ステンレス内筒化工事、その他地方公共団体や民間の煙突及び排ガス処理装置の新設並びに改造工事を約30件行っています。

67期3年1組在京の仲間13名が、昨年12月6日、ニュートーキョー有楽町店さがみ屋に集まり年忘れ会を開きました。椎根君の電話による呼びかけと、森合君の会場設営により、我々は例年の如く集まり一年の経過を語り合いました。八木原君の病死を悼み、そして佐藤君の闘病に氣遣いました。なお、

4月の東京桑野会定期総会には、お互いに呼び掛け合って参加する事を申し合わせました。

(株)富士ハイエンジニアーズ代表取締役

明るく 仲よく 元気よく

富山 健樹 (67期)

《明るく 仲よく 元気よく》

人間終極の目標は、人類が皆明るく仲よく元気よく生きることではないでしょうか。肉体的に健康であり、社会的に健康であり、精神的に健康であって、はじめて人間は明るくなり、元気よくなり、そして仲よものでしょう。いろいろと名言、格言があります。難しい字句での表現、文学的・叙情的言葉での表現とありますが、凡ては明るく、仲よく、元気よく、という極く普通の、日頃聞き馴れた、この三つのこの言葉に尽きると思っています。

《いゝ顔つくろう 民族の顔つくろう!》

最近のテレビや新聞をみて強く感じるのですが、昔は新聞、雑誌、教科書に登場する顔は人々が納得し、尊敬出来る、いゝ顔が多かったように思います。……しかし最近のマスコミ、TVはじめ新聞、雑誌に登場する顔には敬意をもって迎えられる顔がどれ程あるでしょう。

まだヨチヨチ歩きの幼児や小学生、中学生のかおには素晴らしい顔が沢山あるのに……だんだんいゝ顔が減っていく……。

いろいろ理由があるでしょう。諸々事情があるでしょう。しかし、顔はその人の人生がハッキリ表現されるとこ

ろなのではないでしょうか。あなたの顔はあなたの生し来し姿であり、生き様が素直に出ているのではありませんか。よく”目は心の窓”といいますが顔こそ人間自身の履歴書なのではないでしょうか。そして心の有様次第でいゝ顔、味のある顔が出来るのではないのでしょうか。

例えば次のような身内意識など大きく顔のつくりにかゝわると思うのですが如何でしょうか。

《世界はひとつ、宇宙はひとつ》

親子関係の範囲にしか身内意識を持ってない人、兄弟や近しい親戚の範囲の人、自分の居住地の人々から町とか市の範囲で身内意識する人、同じ職場内、同好の志、同じ信仰を持つ人たちだけに身内意識を持って生きている人、県や国単位で身内意識する人から地球全体を、また大きく宇宙、銀河系と意識する人、人様々でしょう。

なるだけ大きくひろく身内意識出来るよう努力精進したいものです。

日本のいゝ顔とアメリカ、ヨーロッパのいゝ顔が結び、更にいゝ顔の世界になることを切に希うものです。みないゝ顔になろうと努力すれば勿論はじめの問題ナド必ずなくなります。経済摩擦などもなくなります。政治不信もなくなります。

みなさん明るく、仲よく、元気よくいゝ顔になろうではありませんか。我が家でのおやすみなさいの言葉は「いゝ顔してねようね!」「きつといゝ事あるよ!」「悲しいことがあったって辛いことがあったっていゝ顔してねようね!」「きつといゝあしたが来るよ!!」 (日本バル)



電気工事業

株式会社

郡山電気製作所

本社工場

〒963 福島県郡山市富久町久保田字本木五四番地

☎郡山 0249(32)2686(代表)

FAX郡山 0429(32)7743

山形営業所

〒999-31 山形県上市市永野字川原2844-3

☎上山 0236(79)2701

代表取締役

成田 幸一 (52期)

大学の窓から

上野武夫 (58期)

毎年2月になると受験生が学内にあふれる。このような場合、大勢の青少年が集まって活況を呈する、という表現はあてはまらない。緊張がみなぎっているという言い方もあろうが、私には全く異様な集団のように見える。誰もが顔面蒼白で押し黙り、目もうつろなのである。一方戸外を見れば、この時期は関東地方特有の冬の陽光がまばゆいばかりで、自然は冬の沈黙から春の希望への喜びに満ちている。人生の一番楽しい時期にある青少年に、このような入試を課する残酷さに一層いや気を覚えさせられる。

このような事は日本中どの学校でも行なわれている。そしてその頂点に立つ大学が、いわゆる受験産業のいう偏差値という尺度で序列化され、何十万の受験生がそれに合わせて受験校の選択を迫られる。それは自分の住んでいる地域、あるいは自分の本当に勉強したい事などは殆ど関係なく決められてしまう。そして入学したらあとは、いや応なく単位制度に従って卒業し、社会へ送り出される。本当に社会が求めている学問や技術、それに人格や教養といったものが身に付いているかどうかと言った事とは殆ど関係なく卒業して行くのである。一方受け入れ側の社会も、はじめから大学の教育などあてにしていないというのである。ある会社に至っては、入社しても使いものにならない者は自由にやめて行くとい

うのである。こうなると日本中を巻き込んでいるあの受験戦争とは一体何なのかと思うのは私ばかりではあるまい。

このような日本の受験制度を外国はどのように見ているのだろうか。我国に一番近い外国からの留学生に聞いてみた。A君の場合、卒業定員100名の所130名入学させる、従って30名は卒業できない事を覚悟して入学するとの事である。またB君の場合、入学生は120名であったが卒業できたのは56名だったとの事である。そこで卒業できなかった者はどうなるのかとの質問に対し、衝撃的な答が返って来た。卒業できない者は恥かしくて大学に居られないので皆軍隊に入り、そこで気合を入れて1年後大学に戻るというのである。そしてその国からの留学生の誰もが自信ありげに日本を追い越し追い越せというのが目標だと言う。このような事を考えていると不安な妄想にふとかられる。

再び学内に目を転ずると、受験生に混じて学内を忙しそうにあちこち走りまわっている学生も結構多い。言うまでもなく卒業予定者で、4年間の集大成、いや過去10何年間自分の受けた学校教育を完成させようと卒業研究に必死なのである。そのような学生を見ると思わず声をかけて、はげましてやる。そして、その学生等の笑顔を見ると、今までの不安な妄想など吹き飛んでしまう。そうだ。あれだけの受験戦争に生き抜いて来た君等だ。やり出して出来ない事などある筈はない。未来の人類の運命は君等にかかっている。大いに頑張ってくれと惜しみなく励ましてやる。そして、このような若者を育て

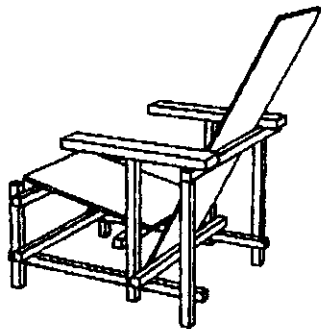
なくてはいけないという責任感が、ひしひしと胸中に湧いて来るのを覚えるのである。(東京理科大学教授)

「二つの誤解」

蒲生篤実 (92期)

「カバオさんいらっしゃいますか？」電話の主が所在を確かめようとしている人物は、どうやら私のようである。上京するまで自分の姓が他人にとって珍らしいものとは思ってもみなかったが、上京して以来クリーニング店等で「ガモウ」と名乗ってまともに漢字書きしてもらえたことはほとんどない。仮名書き又は片仮名書きで預り証に記入してもらうこととなるのが常であった。

しかしテレビの影響は大きいものだと今さらながらに思い知らされることとなった。例のNHKの大河ドラマの「独眼竜正宗」のせいらしいが、同番組中に「蒲生氏郷」なる人物が登場して以来、私の姓を正確に読んでくれる人が増えてきた。職場では、私が福島の出身であることと氏郷が会津を領地としていたことを結びつけて何らかの関係があるのではないかと心配してくれる人まで現れた。歴史の好きな人であるらしく「歴史読本」などの戦国武将特集から氏郷に関する部分をコピーして持って来てくれたりするものだから恐縮してしまう。まあ、この程度の誤解なら大して実害もないし、むしろ相手方が勝手に由緒正しき出自と思いついてくれるのだからと放置しているが、一方では、早急に解消することができる機会が訪れないかと待ち望んで



- 婚礼家具
- リビングセット
- リビングボード
- ダイニングセット
- ハウジング特注家具

快適な暮らしに役立つ
応接・収納セット専門メーカー



マルクワ家具株式会社

株式会社 **マルクワ**

本社 ●345 埼玉東北葛飾郡杉戸町2360 0480(32)1131
 卸センター・ショールーム ●345 埼玉東北葛飾郡杉戸町2360 0480(32)1131
 杉戸工場 ●345 埼玉東北葛飾郡杉戸町2360 0480(32)1131
 自宅 ●345 埼玉東北葛飾郡清地1-5-18 FAX 32-1139

常務取締役
 橋本大三郎 (66期)

いる類の誤解もある。

その誤解とは次のようなものである。人から出身高校を聞かれた時、「郡山にある安積高校です。」と答えると、「ああ、あの中畑選手の出身校ですな。」と返答されることがある。どうやら安積商業高校と取り違えているらしいが、同校出身のプロ野球選手である中畑選手の活躍と同校の甲子園出場を機にこのような誤解が生じ易くなってきたようだ。特に甲子園の野球中継でのアナウンサーが「こちら三塁側安積の応援席です。」などとやるものだから知らないうちに母校が甲子園に出場してしまったり、「絶好調！」などとやたら元気のいい野球選手の同窓生がいることになってしまう。まあ、単なる誤解であるし、大して気にもならないが、いちいち誤解を解くのも面倒だし、だからといって中畑選手の後輩になってしまうのも考えものだなあと思ったりしている。(因みに私は、安積のOBとしては少数派に属すると思われる阪神タイガースのファンである。)

結局のところ後者の誤解を解くためには、中畑クラスのプロ野球選手の出現が難しいと思われる以上やはり安積が甲子園に出場するのが一番効果があるのではないと思う。甲子園で勝ち進むか派手に負けるかするとか、試合はともかく得意の(?)応援で頑張るとかして全国的にアピールすれば必然的に印象に残るだろう。そうなれば、この手の誤解もなくなってゆくのではないかと思うのだが……。

ともかく、今年こそは中畑の後輩たる立場から脱け出させてくれるOB孝

行の後輩たちが出現してくれるのではないかと密かに期待している。

(運輸省海上技術安全局総務課勤務)

アメリカの農民

玄葉光一郎 (96期)

昨年、約3ヶ月間、アメリカ合衆国のアーカンソー州政府に席をおかせてもらいながら、アメリカ農業の実態、及び対外直接投資の現状についての研究をする機会を得ました。その詳しい内容はともかくとしまして、私は、今回のアメリカ滞在中、時あるごとに、農家を訪ねたりしました。本稿ではアーカンソーの農民の暮らし振りを綴ってみたいと思います。日本のそれとの比較は興味深いものかと思えます。ただ、誤解を招かないためにおことわりしておきますと、特にアメリカという国はよくいわれますように、平均的に捉えることが困難であるということは留意していただきたいと思えます。

「夫婦だけの家に寝室が4室、プールバー(ピリヤードをする部屋)付き、部屋数12、年収約12万ドル」、これは、私が1週間ばかりお世話になった農家の生活状況である。いうなれば「大草原の大きな家。であった。

アメリカには大変富裕な農家が多いようである(逆に言えば、貧富の差が大きい。)上記の農家も人口2万余りのこの町にあって、最高給の部類には入らず、中には、年収50万~70万ドルにも達する農家もあった。

これは、アメリカの農民に、自由貿易の信仰者ともいうべき人達が多いと

いうことと無関係ではないだろう。彼らは市場の動きに非常に敏感で、またよく、働く。そして、一般にどんな金持ちも質素で実直な感じのする人が多かった。

私は、農民と話すたびに、「あなたは、農業という職業について満足していますか、という質問をしていたのであるが、決まって返ってくる答えは「イエス」であり、「農作業は楽しいものだ。」やり方さえ間違えなければ儲かるし、ということであった。農民としてのプライドに満ちた態度は印象的であった。

私が訪問した農民の約半数は大学卒であった。話によれば、若い農民はほとんどが大卒だという。それも大体出身地の州立大学というのが一般的のようである。

コーンベルト地帯になると、農家に息子が二人いると、優秀な方が農学部を出て農業後継者となり、あまり出来ない方が経済学部を出て都会のサラリーマンになるという傾向すらあるようである。

前述したようにアメリカの農家の場合は大変貧富の差が大きい。それは「やる気」と「能力、さえあれば相当の上層移行が可能なることを意味している。

思うにまかせて書いてしまいました。アメリカ農業にも欠陥は多く、私はそれを一方的に賛美するつもりは毛頭ありません。しかし、日本農業の現状を考えると、アメリカの農業から学ぶ点はやはりあるように思います。真似て改良し取り入れることは、決して日本の悪しき伝統ではないのですから。

(松下政経塾生)

財団法人 星総合病院 郡山市大町2丁目1-16 ☎(0249)23-3711(代)		附属 星ヶ丘病院 郡山市片平町字北三天7番地 ☎(0249)52-6411(代)		附属 高等看護学院 郡山市富久山町久保田字金堀田4 ☎(0249)22-9105(代)	
歯科 内科 精神科 神経科	付属 星ヶ丘 病院	歯科 麻酔科 放射線科 理学療法科 神経科 経管栄養科 気管食道科 耳鼻咽喉科	眼科 産婦人科 泌尿器科 皮膚科 泌尿器科 心臓血管外科 脳神経外科 整形外科 小児科 小児科 小児科	循環器科 消化器科 内科 本 院	診療科目 理事長 星 一雄(61期)

山田広さんの 逝去を悼む 橋本逸男 (79期)

昨年9月8日、山田広さん(第77期)が急逝された。

山田さんは、昭和42年外務公務員上級試験に合格され翌年入省、英国ケンブリッジ大学で研修の後、OECD代表部、クウェート等に在勤され、外務本省経済局勤務を経て、原子力課長、情報課長という要職を歴任された。

クウェート在勤の際には、イラン・イラク戦争が勃発し、山田さんは、大使館参事官として度々国境まで赴かれ、イラクより陸続として避難してくる邦人の収容と戦況の把握に奮闘された。誰もが称える大活躍であったが、この時期に業病を得られた。誠に痛恨の極みである。

山田さんは、経済問題に精通され、外務省の経済畑にこの人あり、といわれた専門家であった。先進国首脳会議(サミット)の経済関係でも重要な働きをされるなど、将来を大いに嘱望された人であり、哀惜の念に堪えない。

しかし、山田さんの偉大さは、こうした優れた能力とかめざましい業績それ自体にあるのではなく、それらに恵まれたにも拘らず、極めて謙虚で、飾らないお人柄であったことにある。

会う人をフンワリと包む、春のそよ風のようなお人柄は、限りない魅力を感じさせ、人々に深い親愛の情を起さずにはおかなかった。従って山田さんの知己の方々は、公務員の世界にとどまらず、経済人、ジャーナリスト、学

者、研究者等々、実に広い範囲にわたり、この度の御不幸に際しては、誠に広汎な方々から弔意が寄せられた。

小生は、高校、外務省で山田さんの後輩であるが、高校一年の時、英語の模擬試験の成績掲示板に「1番 183点 山田広」とあるのを見て感心したのが、山田さんを初めて存じ上げた時であった。当時の安積は、まだ上級生が矢鱈に威張っていたから、“敬して遠ざく”の一手で、御挨拶もせずに三年を過したが、数年経って外務省に入ってみると、何と山田さんが居られるではないか。しかも、この方は、“遠ざく”べき、“恐い”人ではなく、時折照れたような、穏やかな笑みを見せる敬愛すべき方であった。以来十余年、いろいろお教え頂き、大変お世話になったが、入省年次や任地の関係で、一つの任地で直接御指導頂く時間は極めて短かった。小生としては、今度こそいろいろ教えて頂ける、と期待していた矢先であったので、山田さんの不幸には大きな衝撃を受けた。

本当に立派な、惜しい人を失ってしまい、残念でならない。しかし、今はただ、山田さんの御冥福を祈りたいと思う。

山田さんは、夫人との間に二人の御令息がある。現在学期期にある二人の健やかな成長を願い、少しでも役に立ちたい、との気持から、先般、外務省同期生が中心となり、広く各界の方々の御賛同を得て、育英資金を募ったところ、実に多数の方々の御志が寄せられた。ここからも山田さんの遺徳が偲ばれる。

最後に、御家族の御多幸を願い、重

ねて山田さんの御魂の平安を祈りつつ、拙文を終る。

追記 御令息の育英資金に御賛同下さる方がおられたら、橋本宛に御一報下されれば幸いです。

外務省桑野会の連絡係として。

(外務省・領事第二課長)

安原先生への手紙

横田 良 (81期)

拝啓 毎朝剃る髭にも白いものが混じり、頭皮に占める頭髮の密度も日毎衰りゆく今日のごころ(小生の場合)、先生におかれましては如何お過ごしでしょうか。聞くところによれば、県教委の要職にお就きのご様子、その責任の重さ故に大変多忙な日々を送っておられることと推察致します。過日の卒後20周年の同窓会の件、ご存じでしたか。

友に誘われるまゝ出席致しましたが、総勢100名を数える宴会は、かなりの盛り上りを見せ、しばし楽しくもくつろいだ時間を過ごすことができました。思えばもう24年も経ってしまうのですが、小生16歳の折、将来への不安と希望を胸に、桜の蕾ふくらむ4月、安積の学舎に足を踏み入れたこと、今でも昨日のこのように思い返すことができます。入学式を終え、広大な運動場を一望に見渡す木造校舎の窓際に席を与えられた小生は、それ以後先生との3年間の学園生活を送ることになりました。ご記憶ですか。最初の対面で、先生は黒板に自らの氏名にカナをふって自己紹介された。そして、今思えば

各種貯油槽・圧力容器・製缶・化学プラント設計施工

興和鐵工株式会社

福島県郡山市富久町久保田字大久保63

電話 郡山 (0249) } 22-3840
 } 32-3292
FAX (0249) 33-6104

代表取締役

荒井 孝一 (78期)

や、緊張した面持ちで、自分が安積女子高からの転任である旨をお話された。そういえば、その時の級友笠原君と同窓会で一緒しましたが、何と現在母校で数学の教師をしているとのこと。皆から、当時の先生の年恰好にそっくりとの評判が聞かれ、本人も苦笑していました。良くも悪くも、小生にとっては思い出に残る3年間でしたが、何が記憶に残っているかといつて、恐らく3年になってのことでしょうが、先生の宿直の時、訳あって一人で宿直室にお邪魔をし、夜遅くまで話をしたことです。小生の半ばレールの敷かれた将来に対する不満に、実に明解に先生は、ご自分の意見を披露された。時は風のない真夏の夜のこと、一体どんな約束の下に先生を訪ねたのか、その所の記憶はないものの、一枚の壊れたガラス窓から数多の夏の虫が宿直室の裸電球めがけ、飛びこんできていた様が、今でも脳裏に焼きついております。かくして、小生は中学までの頭の良い子が、高校で普通の子になっていくひとつの典型を演じつつ、学舎をあとにしました。その後しばらくして、風のうわさに先生が福島の高校へ転任をされたということを聞きました。そして過日の同窓会へとさらに数年が経過し、益々のご壮健おりを伺ったという次第です。3年9組からは、ほとんど悪童ばかりの10名が出席しましたが、恩師不在もあって、2次会では若干盛り上りに欠けました。次の同窓会には、是非同じメンバーで集まろうと、意志を確認しあいました。どうか、次なる同窓会には、万障お繰り合せの上、是非ご出席頂きますよう、当日の出席者全

員になり変り、お願いする次第であります。最後に先生の今後のご健康とご多幸をお祈りし、恐らくや先生への最初で最後の手紙とさせていただきます。

敬具 (歯科医)

ふるさとへの提言

阿部 力也 (94期)

最初に、昨年の福島県知事選挙においてご当選された佐藤栄佐久知事に、心からお慶びを申し上げ、今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

さて私も、安積を卒業上京して早いもので8年になりました。現在、衆議院議員亀岡高夫秘書として、忙しい日々を送っております。安積卒の県知事が誕生し、元号が昭和から平成となった今、改めて『ふるさと福島の未来』について考えてみたいと思います。

そこで、福島県長期総合開発計画を読みますと、1 福島空港計画 2 阿武隈地域開発計画 3 リゾート開発計画 4 高速自動車道整備計画 5 テクノポリス構想計画など、幾つかの開発テーマが掲げられております。この中で特に『ふるさと福島の未来』を考える上で重要なテーマは、1 福島空港計画だと思えます。周知のように、国内航路獲得という点での空港計画は、既に用地買収が始まっており、土木工事も63年度から着工しておりますが、単に国内空港としての計画ではなく大規模国際空港化の必要性を強く感じます。

なぜならば、21世紀の日本を展望する時、「国際化」の流れは間違いのないものであるからです。運輸面での対

応から考えましても、成田空港の2期工事及び、関西国際空港の建設等も鋭意進められてはいるものの、首都圏から成田空港へのアクセスは必ずしも便利だとはいえ、その改良の目途も立っておりません。日本、特に「東京」の国際的責務はますます増大しますが、それに伴う国際間の人的及び、物的交流の増大を考えるならば、首都圏における成田以外の大規模国際空港の建設は、是非とも必要でありましょう。しかし、関東平野の内部で適地を見つけることは、騒音問題の点から困難でありますし、海上空港提案もコストとアクセス整備の点から、具体化はなかなか進んでおりません。前述のごとく、福島空港は国内空港として、1993年開港の予定であります。既存の東北新幹線より約15kmの分岐線を空港ターミナルに乗り入れるならば、東京都心より73分、仙台より45分の時間距離となる位置にあります。空港立地を考えるうえで最大の問題点は、騒音問題であります。この周辺は集落も少なく、大規模空港を設置し得る立地条件であると思われ。また、首都圏国際空港として機能すると同時に、今まで開発の充分でなかった東北地方の開発の契機、多極分散型国土形成の礎、さらに遷都し、新たな首都を形成する場合の核ともなり得ると考えられます。

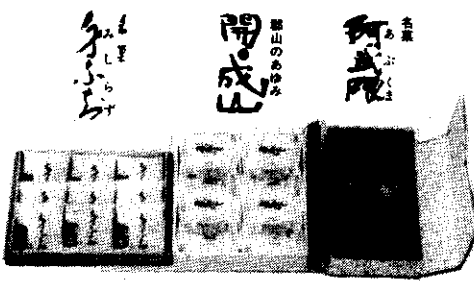
“福島を関東圏に。”“福島(東北)に光りを。”といった言葉はいずれも先人のいわれたことのように記憶していますが、まさに21世紀を間近にした今、“福島から世界へ。”が夢ではなくなるかもしれません。

(衆議院議員亀岡高夫秘書)

ふるさと 郡山

ふるさとのおみやげにどうぞ。

●地方発送承ります。



郡山

大東屋

本店 郡山市中町14-8 ☎0249-32-3517
 JR郡山駅売店 KIOSK売店
 阿部充正 (92期)

オンエア
私の禁煙抄
—足の裏から煙が出てゆく—
山本 桂 (58期)

大晦日に自宅の屋上でお別れ煙草をゆっくり味わいながら、立てつづけに二本ほど深々と吸い込んだ。上野寛永寺の除夜の鐘が聞こえてくると同時にプツリと煙草と縁を切った。あれは昭和四十八年の元旦だからもう十五年前の話である。以来一本も吸わない。

旧制安積中学二年の時、友人から「これを吸うと大人の仲間入りが出来る」と鵬翼という巻煙草を差し出された。怖々と一服吸い込んだ途端に地球が急にグラツキ出し目が廻って野原の上にひっくり返ってしまった。私はどちらかというところとボーッとした少年だったが、早熟なその友人から学校をサボろうと誘われ女学校の見える裏山の草原での出来事だった。

歯科の学校に入って死体解剖のあとの煙草はホルマリン臭を消す意味でも忘れられない味だった。

戦後間もない昭和二十年代の初めは、一箱の煙草を買うため煙草屋の前に行列したり、「モク拾い」という言葉があったほど物質のない時代で、一本の煙草を友人間で廻しのみしたりした。回顧すると、この頃から以降二十年間位はタバコ全盛時代だった様に思われる。期せずして映画も全盛時代で、喫茶のポーズが雰囲気作りと間に利用された。ジャン・ギャバンなどはボス役でラストシーンでタバコをくわえて死んでゆく場面が何度かあったし、ローレン・バコールやキャサリン・ヘップ

バーンの妖婦型の挑発的な肢体と、その美貌にまつわりつく紫煙は男心を揺さぶった。幅の広いベルトをつけた西部劇のガンマンが、靴や壁でマッチをこすってタバコに火をつける仕草もナウイ感じだった。世間一般にタバコが大らかに容認された時代だった。

私自身の事に話が戻るが、青年時代は柔道に明け暮れていたのが国体予選や対県試合の前など一ヶ月ほどは断続的に禁酒禁煙を繰り返していた。病院に勤務し長女のお産で家内が里帰りした際、麻雀を覚えてからは節制に歯止めがかからなくなった。病院の宿直医や薬剤師、レントゲン技師らと毎晩深夜勤務の度に泊り込みで麻雀を打ち続け、リーチをかけるたび煙草の本数が増え指先が黄色くなり微かに臭った。患者さんも指が臭くてさぞ不快だったろうと今考えても耳赤の想いである。自動販売機など無い時代だから買いおきも必要だったし、自宅の部屋の鴨居にはピースの空罐が並んだ。開罐直後のピースの甘い香りは国際級で私は今でも世界で一番おいしい煙草だったと思っている。寝タバコ、トイレ、風呂場と所かまわぬヘビースモーカーにエスカレートしていった。

尻からヤニが出るという喫煙ぶりで我ながら呆れる始末、「貴方はタバコが止められる」という本を読んだり何度か節煙や禁煙に挑戦してみたが毎回不成功裡に終わっていた。開業してもその状態は長い間続いた。一週間ほど禁煙して保険の整備会に出席したところ「タバコは男のムードだからなあ……」と先輩に眩やかかれ又ずるずると吸い出した。「酒も飲まずタバコも吸

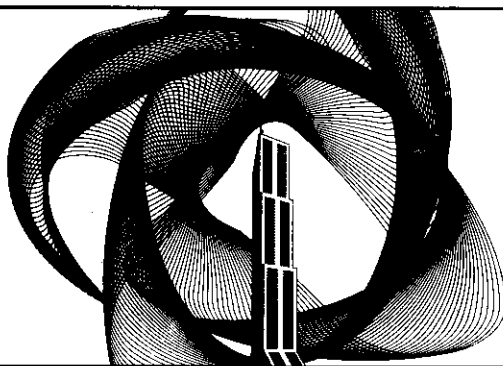
わず百まで生きた馬鹿がいる」という言葉にも負けた。意志薄弱を絵に描いた様に酒とタバコの暴飲が続いた十五年前、元南海監督の鶴岡さんの様にある朝、急に声が囁れてきた。そのうち深夜に口蓋唾や喉頭部の奥がシンシンと痛んできた。「喉頭ガンは嫌だな」と不安に脅えたのが禁煙に成功した一番の動機である。禁煙一週間は無気力で放心状態、手持ち無沙汰と口淋しきで、仕方なく薄造りの小さな煎餅を用意ポリポリ…カリカリ齧っていた。寝床の中まで煎餅を持ちこむ始末で何とも佻しく心の中をシュルシュルと風が吹いている様だった。家族も随分気を使ってくれた。私はイライラする神経に我慢に我慢を重ねて十日位経過した頃、両足の裏からタバコの気がスーッと煙の様に歩いていく快感を覚えた。何とも良い気持でその状態が3日も4日も続き足の裏が軽くなった。中国ハリや灸に精通している友人が足の裏にも湧泉というツボがあると話していたが、あのスーッと煙の様に歩いて行く快感は臓器の休息と回復の証左だったのであろうか。なんとも不思議な体験だった。マッチやライターも要らなくなり急に洋服のポケットが清潔になり身軽になった。酒を飲んで自制心の緩んだ時、タバコの誘惑が一番きつかったが、一ヶ月経過したら記録を破るのが惜しくなった。「お父さんの意志がそんなに強いと思わなかった」と娘や女房から珍らしく褒められた。半年ほどでジョギングしても息切れが少なくなり食物がおいしくなって体重が3kg増えた。五年間ぐらいは喫煙する夢をよく見た。夢の中で深々とタバコを吸っ

知能と感性のオフィス
情報世紀への離陸!!

ビルをインテリジェント化する
近電エトータル ファシリティ システム

東北支社 福島営業所
〒963 郡山市清水台1丁目6番地の21
山和ビル2階
TEL 0249-23-5199

東北支社
〒980 仙台市一番街2丁目5番5号
中央ビル5階
TEL 0222-27-1265



近電工
近畿電気工事株式会社

ている。香りや味まで判る、夜中にハッと目覚めて喫わないで良かったと胸を撫でおろした事が何回もあった。

愛煙家には誠に旗色の悪い時代になった。肩身の狭い思いをして喫煙している人を見ると気の毒にも思えてくる。嫌煙権という言葉も響きが強すぎて好きでない。基本的には喫煙は個人の自由だから、吸う人と吸わない人のコンセンサスが出来れば問題はないのだが、そのTPOは仲々厄介だ。場所を選ばず吸うという事が困る訳である。副流煙という新語が飛び出し周囲の人への悪影響が云々されだした頃、ヘビースモーカーだった先輩が、孫に「タバコ臭いよー、おじいちゃん」の一言でブツリ煙草を辞めた。最近私も冷房の効いた狭い日本間で会食した時、喫煙者が多く目が痛くなり、むせつき、窓を明けてはみたものの折角の料理の味を楽しむどころでなかった経験がある。空気が濁ると味覚や嗅覚の感覚器まで駄目になってしまうという事を喫煙者に是非知って欲しいと思った。

アメリカのタバコ事情だがカリフォルニア州では喫煙者はごく少数派でレストランでは7:3の割合で禁煙席、喫煙席に分けている。ビバリーヒルズ地区では凡ての公共空間は禁煙である(ゲイル・大島さんの手記より)。医師は決して吸わないお国柄だが葉タバコの生産量は多く後進国にニコチンを必死に売りつける悲喜劇を演じている。

わが国もここ数年で煙草に対する認識が随分変わった。地下鉄構内や東京ドームなど禁煙エリアも増え禁煙タクシーも登場した。患者さんの口腔を診察していてもタバコ臭い患者が少なくな

り、前歯部のタバコのヤニも殆んど無くなった。私自身もはやばやと煙草を辞めて本当に良かったと思っている。あれほど愛した煙草なのに、禁煙年数の延長と共にタバコの煙と臭いに敏感になり待合室は勿論灰皿を置かないし、今では乗物も進んで禁煙車を選ぶようになった。(歯科医)

高瀬禮二先生賛

渡部喬一 (64期)

法曹界の輝ける大先輩であられる高瀬禮二先生が、勲一等瑞宝章を叙勲された。我々後輩としても誠に喜ばしい次第である。

高瀬禮二先生といえば、誰でもロッキード事件を思い出す。

昭和51年夏、田中元総理が逮捕されたとのニュースを見て、大変に驚いたことを昨日の様に思い出されるが、伝えられるところによれば、この時田中元総理に対して逮捕状を執行したのは、当時東京地検検事正であった高瀬禮二先生とのことである。

逮捕状を執行する旨伝えるや、田中元総理は少しも動ぜず、「筆と硯を貸して貰いたい。」と言われ、用意すると、さらさらと党職辞任届を書かれたとのことである。その折、高瀬先生が元総理に言われた一言がいまだに法曹界においては語り草になっている。その一言とは、「環境が変わることと思えますので、お体には十分気をつけて下さい。」であった。この心配り、思いやりは人間高瀬禮二先生の真骨頂を物語るものといえよう。

法曹界において、高瀬先生といえば、紳士中の紳士、典雅な英国型紳士として有名である。古くから高瀬先生は、英国大使はいつでも務まると言われていた位である。

先生は、東京地検検事を振出しに、法務省刑事局参事官、東京高検検事、徳島地検検事正、法務省保護局長、東京地検検事正、福岡高検検事長、次長検事、東京高検検事長など法務・検察の要職を次々と務められた後、昭和54年退官後は、弁護士となられたが、今なお、矯正保護審議会会長などの要職を務め、法曹界のために頑張っておられる。今後とも益々お元気で活躍され、我々後輩をご指導して頂けることを念じて止まない次第である。

(弁護士、元東京地検検事)



■高瀬禮二氏叙勲を祝して追記

さる1月18日に椿山荘にて、東京桑野会の幹事及び有志により、勲一等瑞宝章を受賞した高瀬氏を囲む会を催しました。多数参加され、盛会でした。

その席で、「安積健児の像」のレリーフを有志役員一同として送りました。

これは、澤田会長の時と同じもので45期の佐藤静司さんに制作していただきました。(桜井記)

コンバートシステム完備!14メーカーのフロッピ(ワープロ,パソコン)の変換が可能です。

フロッピ入稿で自費出版!

※料金、注文方法についてはお気軽にお問い合わせ下さい。



企画・編集・
デザイン・版下・
印刷・製本・
チラシ・カタログ・
各種出版印刷物

ワープロ入力・
電算写植・
メディア変換・
名簿管理

株式会社 **アテネ社**

〒101 東京都千代田区三崎町2-12-9 三崎町ビル
電話 03(239)7466~7 FAX 03(239)7468

弊社は「東京桑野会会報」を第5号より製作しております。

事務局便り

■名簿改訂のお願い

同窓会の基礎とも言うべき会員名簿であります。前回の名簿作成から満5年を経過しようとしております。90期以降の会員も増えている現在、名簿の改訂は、大変重要です。

今年は、是非名簿の改訂を行う予定ですので、各期の幹事に自分の期の会員の把握を行うとともに、若い期の会員の把握を促進したいと思っております。また、会員の訃報等がありましたら事務局か各期の幹事にお知らせ下さい。報せは、葉書等をお願いします。

■「安積健児の像」のレリーフ頒布について

旧本館前に立つ「安積健児の像」をその作者佐藤静司さん(45期)に東京桑野会特製としてレリーフ化したものを頒布しております。

・申し込み先

〒160 東京都新宿区新宿1-3-8
YKB新宿御苑804 齊藤法律事務所
齊藤英彦(68期) Tel03-356-6677

■旧本館バルコニー四季の写真頒布について

下にあります春夏秋冬のカラー写真(このモノクロ四季が見えないのが残念—撮影は佐藤友一郎氏の提供)は、非常に奇麗で、木の額に入ります。

・大(76cm×31cm) — ¥15,000

・小(68cm×29cm) — ¥12,000

価格は予定ですが、いまの所送料込みとします。諸般の事情から変更される場合がありますので宜しく。

・申し込み先

〒167 東京都杉並区西荻3-7-3
朝日新聞西荻専売所

高松豊(74期) Tel03-333-2036

■故水田荘介先生の作品集について

20余年にわたる母校の美術教師であった故水田荘介先生の作品集が出来上がりました。定価¥7,000です、申し込みは、上記の高松豊さんへ。

■事務局岡本啓子さんについて

星会計事務所のスタッフで星武典さん(58期)の姪御さん、年度末の大変忙しい最中に東京桑野会の多くの仕事を処理していただいています。ただ感謝、会員からの様々な電話の情報やおしかり等本当にご苦労さまです。

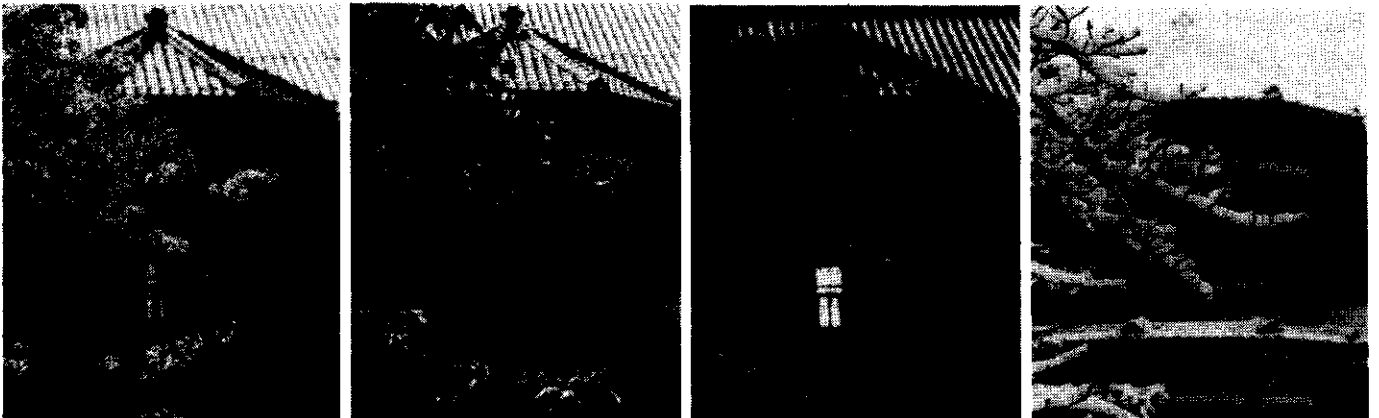
編集後記

■母校旧本館は今年3月「竣工百年」を迎えました。パリのエッフェル塔と同じ日です。母校元教官の椎野先生、澤田会長、古川大使をはじめ多くの方々にお集まり戴き、竣工前後の時代背景やその後の歴史、保存の努力、今後の運営等貴重な意見を頂くことができました。今後単なるノスタルジアを越えた生きた保存が課題でしょうか。

この座談会が「竣工百年」を記念して現地でシンポジウム等の開催のきっかけにでもなれば幸いです。

エッフェル塔を日々みているパリ在住の岩谷氏(67期)からの便りも戴きました。(水口)

■忙しい最中の11号の編集、校正に、幹事長も巻き込み、土屋さん、大津さん、の目を大分疲労させました。今回は、丹治さんと村上さんが多忙で編集チームが片肺飛行でした。知事原稿をギリギリにもらった玄葉さんの活躍、坂本さんの校正、阿部さんもご苦労さまでした。柳沼弥重先生に久しぶりに会えました。先生お元気で。(桜井)



撮影：佐藤友一郎氏



五十嵐冷蔵株式会社

(冷蔵・冷凍食品・低温運輸の総合エンタープライズ)

FROZEN
FOOD

〒108 東京都港区芝浦2-10-5

TEL 03(451)1111(大代表)

テレックス242-4442

東京桑野会会員 専務取締役 吉田弘俊(第52期)